



# COM

【コム】

Published by Aichi University Information Processing Center.

Vol.13/No.2 2003.March

## 情報処理センター利用案内

◇サービス時間 <月～土曜日> (※都合により変更する場合があります。掲示をご覧ください。)

### 名古屋校舎

期 間	第1・2・3実習室	マルチメディア教室 (中央教室棟)	E201教室 E202教室 (東教室棟)	マルチメディアコーナー <メディアゾーン> (図書館棟2F)
通常講義 定期試験	9:20～19:50	講義利用のみ	9:20～18:10	9:20～20:00
補講集中講義 試験前 試験後	9:20～19:00		9:20～18:10 (E202教室は講義利用のみ)	9:20～19:00
			上記以外	

### 豊橋校舎

期 間	420教室 (オープンアクセスルーム)	メディアコーナー (図書館)※1	413教室・421教室・ 423教室・424教室・ 国際コミュニケーション学部パソコン教室(523教室)
通常講義 定期試験	9:10～21:00	9:20～21:00	講義利用のみ  (420教室の状況により一般利用できます。)
補講集中講義 試験前 試験後	9:10～21:00	9:20～21:00	
	9:10～19:00	9:20～19:00	
上記以外	9:10～19:00	9:20～18:30	

※1 メディアコーナー は、豊橋図書館の運用日程に準じます。

### 車道校舎

期 間	実 習 室
通常講義 定期試験	16:00～21:30 土曜のみ5:30～
補講集中講義	16:00～20:00 土曜のみ5:30～
上記以外	

■センター閉室日 / 日曜日・祝日・夏期休暇期・年末年始・創立記念日(11/15)・入試期間

### ◇メールリストサーバ

アドレス	list@aichi-u.ac.jp
subjectの記述	meibo (教員) , meiboj (職員)
郵送される資料	電子メールアドレス

## はじめに

情報処理センター所長 坂 東 昌 子

「情報処理センター誌の愛称はコムかロゴか」、こんな話をしたのは1989年です。ロゴは論理の象徴、コムはコミュニケーションの象徴です。やはりコムがいいな、仲間と共有する、協力する、そんな広場のイメージがあるな、情報処理センターが教えあい響きあい学びあう広場になってほしいな、そんな願いをこめて、「コム」という名前が決まりました。

1988年の三好キャンパスの開校とともに念願の情報処理センターが発足し、コムが発刊されたころです。

「ハードはなくともハートで勝負」がその頃の合言葉でした。パソコンが普及しはじめ、これまで計算機機能が中心であったコンピューターが、情報の収集や交換の道具になり初め、単に施設ができただけでは十分ではないと、さまざまな分野の教員が知恵を出し合って、「たとえ設備が充実し、ハードが整っても、それに伴うソフトを支えるハートがなかったら、情報処理センターもただの箱だ、それに魂を吹き込もう」という意気統合しました。

情報処理センターに関係する教員も職員も、そしてその頃初めて誕生した学生相談員も、みんな同じ部屋でわいわいがやがや相談しながら、新しい情報教育の普及のために協力しました。コムには、上下のない関係のイメージもあります。

情報という名前の語源は軍隊用語だそうです、上から下への情報の流れは「命令」で、下から上への伝達は「情報」というのだそうです。平等な関係を意味しているのですね。

21世紀は、市民が主役になって社会を変革していく時代、そのなかで、情報は重要な役割を果たします。

しかし、下からの民主主義に根ざした情報にも、無駄な情報と価値のある情報、良質の情報と悪質な情報、があります。良質の情報は人を勇気づけ、人にエネルギーを与えます。逆に、意図的に流される悪質な情報は、時には暴力となります。その典型は人をおとしめる噂です。噂は公に弁明できないのでよけいやっかいで、そのために人を傷つけます。ですから、情報の受け手の間に協力関係がなければ、情報にも価値は

ありません。コムというのは、元気の源になる情報を共有するといったイメージもあります。

受け手の協力関係に根ざした情報の上に、成熟した民主主義が育つのだと思います。ですから、情報を的確に判断する知性を持つ市民がいて初めて、世論を動かすことができ、情報が生きてきます。

情報処理センターは、今では愛知大学の中でも格段の設備を誇る最も恵まれた施設の1つとなり、更に、次期システム計画の作成期に入りました。規模が大きくなると、ともすると手作りの良さが失われます。

時代とともに変わりゆく情勢のなかで、知恵を寄せ合い、勉強しながら協力して次期目標を立てていきたいものです。

## 目 次

はじめに .....	所長：坂東 昌子
<b>1. 論文</b>	
Plan 9 web サーバ P e g a s u s のシステムデザイン.....	有澤 健治 ..... 1
文献テキストからのキーワードマイニングと内容検索への応用.....	土橋 喜 ..... 11
中国語授業におけるマルチメディアネットワーク利用のすすめ.....	朱 彤 ..... 35
<b>2. COM コーナー</b>	
Excelによるデータ分析の基礎.....	土橋 喜 ..... 47
<b>3. センターだより</b>	
1 情報処理センターにおける委員会活動.....	131
2 情報処理センター主催行事.....	133
3 情報処理センター活動報告.....	135
1) 名古屋情報処理センター	
2) 豊橋情報処理センター	
4 情報処理センター委員会構成員.....	150
5 編集後記.....	151

原稿募集要項